

メッセージ  
MESSAGE

株主の皆様へ

CONTENTS

株主の皆様へ……………	01
(第48回定時株主総会招集ご通知添付書類)	
事業報告	
会社の現況に関する事項……………	02
会社の状況に関する事項……………	16
計算書類	
連結貸借対照表……………	21
連結損益計算書……………	22
連結株主資本等変動計算書……………	23
連結注記表……………	24
貸借対照表……………	29
損益計算書……………	30
株主資本等変動計算書……………	31
個別注記表……………	32
連結計算書類に係る	
会計監査人監査報告書謄本……………	42
会計監査人監査報告書謄本……………	43
監査役監査報告書謄本……………	44



代表取締役社長 楠島 藤夫

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社の第48期（2008年4月1日から2009年3月31日まで）の事業の概況についてご報告申し上げます。

当期は、期中に発生した米国金融機関の破たんを契機とする世界同時不況により、国内外の景気は急激かつ大幅に減速しました。

この状況の中、当社では、従来に引き続き、高い技術力と優れた商品によりお客様の進化を支えていくという「IT Lifecycle Evolution」を掲げ、当社の得意分野を活かしていくとともに、得意分野同士のシナジーによる付加価値を追求した事業を推進しました。

しかしながら、100年に1度とも言われる未曾有の経済危機によりもたらされた景気的大幅な後退、急速な円高の進行の影響で、売上高、利益ともに前年を下回る結果となりました。

このような中でも、得意ソリューションであるECM、ITインフラシステム構築、情報セキュリティは、お客様の内部統制やコンプライアンス対策へのニーズの高まりから堅調に推移しました。また、スキャナにおきましては、市場自体が減速している中でも、当社製品の製品力が評価・支持され、出荷台数の増加、およびシェアの拡大につながりました。

なお、期末配当につきましては、厳しい環境下ではありますが、株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を込めて1株あたり425円（年間500円）をご提案させていただきました。

2009年度におきましても、景気の低迷が続くことが予想され、当社事業への影響も避けられないものと思われませんが、得意分野のより一層の強化とシェアの拡大を図るとともに、徹底した内部の効率化を図ることで、不況下でも利益の出せる強い会社づくりを進めていく所存です。

株主の皆様におかれましては、今後も引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

2009年6月